

事業番号	13 01 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	電気事業	部局	企業局	課・室	電気事業課		
		実施期間	S33 ~	E-mail	kigyoo @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

- ・2050ゼロカーボンの実現に向け、再生可能エネルギーの供給拡大が求められている。
- ・そのためには、新規発電所の建設等により、発電電力量を増やすことが必要である。

2 事業目的

「再生可能エネルギーの供給拡大」と「エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくり」の具現化を図る。

3 事業目的を達成するための取組

① 地域に貢献する電源開発の推進

- ・再生可能エネルギーの供給拡大のため、
新規発電所を建設（設計・建設：6か所、事業性評価：5地点）
既存発電所の大規模改修を実施（設計・改修：5か所、事業性評価：2か所）
市町村等の開発を支援（小水力発電事業性評価や建設工事の受託、水力発電推進研究会）

② 災害時（非常時）における電力供給体制の検討等

- ・停電時にも自立運転可能な発電所の整備
- ・災害時に地域の防災拠点等への電力供給を可能にするため、地域連携マイクログリッド構築に向けた検討を実施（実施スキームの検討・発動ルールの作成等）

③ 次世代監視制御ネットワークを活用したスマート化の推進

- ・先端技術を活用して発電の効率化とリスクマネジメントを行うため、次世代監視制御ネットワークを活用したスマート保安を推進

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①-1	企業局の電力量で賄える県内世帯の割合	%	13.2		13.2	→	13.2	→	13.2	達成	再生可能エネルギーの供給拡大を図るため、「長野県公営企業経営戦略」（平成28年2月策定、令和2年度改定）において設定した目標値15%の達成に向けて、R5年度の事業進捗予定に合わせた目標値とする。
①-2	総発電所数	か所	23		23	→	23	→	23	達成	再生可能エネルギーの供給拡大を図るため、「長野県公営企業経営戦略」（平成28年2月策定、令和2年度改定）において設定した目標値36か所の達成に向けて、R5年度の事業進捗予定に合わせた目標とする。
①-3	大規模改修を行う発電所数（工事着工）	か所	3		6	↗	6	→	6	達成	再生可能エネルギーの供給拡大を図るため、「長野県公営企業経営戦略」（平成28年2月策定、令和2年度改定）において設定した目標値6か所の達成に向けて、R5年度の事業進捗予定に合わせた目標とする。
②	自立運転可能な発電所立地市町村数	市町村	5		5	→	5	→	6	未達成	エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくりの具現化を図るため、「長野県公営企業経営戦略」（平成28年2月策定、令和2年度改定）において設定した目標値15市町村の達成に向けて、R5年度の事業進捗予定に合わせた目標とする。
③	指標なし	-	-		-		-		-	-	-

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-1④	持続可能な脱炭素社会の創出	★再生可能エネルギー生産量	MWh	2021 (R3)	315,014	2022 (R4)	276,403	2023 (R5)	221,208	2023 (R5)	232,243

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額				決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)		
R5年度	4,548,298	23,584,339	33,502	28,166,139	0	63
R4年度	1,606,666	13,364,905	441	14,972,012	0	66
R3年度	517,168	10,259,986	18,723	10,795,877	0	64

事業番号	13 01 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	電気事業		部局	企業局	課・室	電気事業課

7 主な取組実績と成果

① 地域に貢献する電源開発の推進

- ・新規発電所の建設 6か所（設計中含む）
- ・調査中の候補地点 5か所
- ・既存発電所の大規模改修 5か所



大規模改修中の発電所

② 災害時（非常時）における電力供給体制の検討等

- ・自立運転可能な発電所立地市町村数 5か所



非常時に地域住民が利用可能なコンセント

③ 次世代監視制御ネットワークを活用したスマート化の推進

- ・次世代監視制御ネットワークを活用して、監視制御のスマート化を実現した発電所数 5か所



複数の発電所を一括して監視制御する中央制御所

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①-1	企業局の電力量で賄える県内世帯の割合	R4年度推移	→	R5年度推移	→	達成状況	達成
令和5年度は前年度から引き続き新しい水力発電所を建設中であり、また、新たに既存発電所の大規模改修を実施した影響等により電力量はやや減少した。 「長野県公営企業経営戦略」において設定した目標に向けて、取り組みを継続していく。							
指標①-2	総発電所数	R4年度推移	→	R5年度推移	→	達成状況	達成
指標①-1のとおり。							
指標①-3	大規模改修を行う発電所数（工事着工）	R4年度推移	↗	R5年度推移	→	達成状況	達成
令和5年度は、前年度から引き続き大規模改修を実施した。今後は、令和3年度より建設部から移管された奈良井発電所及び松川ダム発電所の大規模改修事業について検討を進めていく。							
指標②	自立運転可能な発電所立地市町村数	R4年度推移	→	R5年度推移	→	達成状況	未達成
予定していた機械の改修について、業者との調整に時間がかかっており、未達成となった。 今後もより一層の取組が必要。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・発電所の平均的な償却年数（建設から40年）を経過した発電所の計画的な老朽化対策が必要。
- ・自立運転可能な発電所を整備し、災害時における電力供給体制の強化が必要。

(2) 事業改善の方策

- ・経営の安定化を図りながら、再生可能エネルギーの供給を拡大するため、改修期間中の減収の影響、経済性の検討等、経営的な観点を考慮した、バランスの取れた設備投資を継続することが必要。

事業名	電気事業	部局	企業局	課・室	電気事業課
-----	------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	電気事業	7,540,314 千円	8,743,803 千円	21,548,386 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	地域に貢献する電源開発の推進	直接 委託	再生可能エネルギーの供給拡大のため、新規発電所の建設、既存発電所の大規模改修、市町村等の開発支援（小水力発電事業性評価や建設工事の受託、水力発電推進研究会）等を実施 新規発電所：設計・建設：6か所 大規模改修：設計・改修：5か所
2	災害時（非常時）における電力供給体制の検討等	直接 委託	・停電時にも自立運転可能な発電所の整備 ・災害時に地域の防災拠点等への電力供給を可能にするため、地域連携マイクログリッド構築に向けた検討を実施（実施スキームの検討・発動ルールの作成等） 自立運転可能な発電所数：5か所
3	次世代監視制御ネットワークを活用したスマート化の推進	直接 委託	先端技術を活用して発電の効率化とリスクマネジメントを行うため、次世代監視制御ネットワークを活用したスマート保安を推進 監視制御のスマート化を実現した発電所数：5か所